

統計分析で介護の品質向上へ

愛知県指定介護保険特定施設「ワンズヴィラ池鯉鮒」

深谷メディカルビル株式会社

代表取締役 深谷憲夫

関連グループ施設：

(社会福祉法人富士会「ヴィラトピア知立」 ISO 9 0 0 1 認証グループ)

個人の特性に合わせた適正介護へ

入居者個人個人がどのような体調傾向があるのか？
その科学的なバックデータが存在するか？

仮説

「過去データが健康の不調パターンとよく似てる！」

ならば、その時の経験からもっと早期に介護・看護の対応が
できれば、「予防介護」ができるはず。

我々の課題（テーマ）の概要

「個人の満足度」の多様化に伴い、日々の暮らしの中で
個人の生理的情報をデータ化し、それぞれの生活環境を整え
ながら総合的な健康維持を追求したい。

生理学的変数と統計技法

変数の決定と活用法

• 選択した変数から近似
方程式を求め予測の推
定可能とする

• 理論性、客観性を持つ
て変数を設定し、変数
のパターンの想定

統計上の比較値と差異

- 年齢相応の平均的値
- 血圧 脈圧平均値
- 水分量の理想値
- 必要摂取カロリー量
- 正規分布の理論

分析の結果の活用

- 水分摂取量の指導
- 食事量指導
- 薬効 実証
- 傾向の分布（予防）
- 達成できそうな確率
(統計学の活用)

分析値は何か

材料・環境	量(具体的に)・イベント内容
バイタル値	血圧(高、低)、体温、脈拍
水分摂取量	CC
体重、身長	BMI
排泄	便、尿、形状、量、色、硬度 その他
その他項目	-----
行事	刺激、家族面会、イベント
医療の指示項目	-----

手順

手順 1

手順 2

手順 3

手順 4



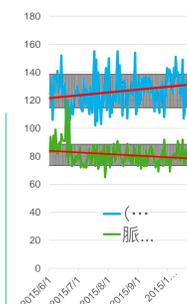
利用者の
ケアプランの掌握



バイタル等の
測定

脈拍	87	78	85	81	82
血圧(高)	101	120	122	126	97
血圧(低)	69	82	72	84	68
体温	36.3	36.2	36.2	37.2	36.2
脈拍	82	82	84	70	78
血圧(高)	145	125	115	118	110
血圧(低)	78	78	84	80	83
体温	36.3	36.4	36.3	36.3	36.3
脈拍	83	74	88	87	87
血圧(高)	135	131	137	137	118
血圧(低)	77	84	76	78	85
体温	36.4	36.5	36.2	36.9	36.3
脈拍	86.7	86.7	86.5	86.9	87.2
体温		37			
脈拍	81	80	81	71	80
血圧(高)	94	96	109	112	118
血圧(低)	65	56	61	78	68
体温	36.3	36.6	37.2	36.9	36.2

パソコン入力
変換

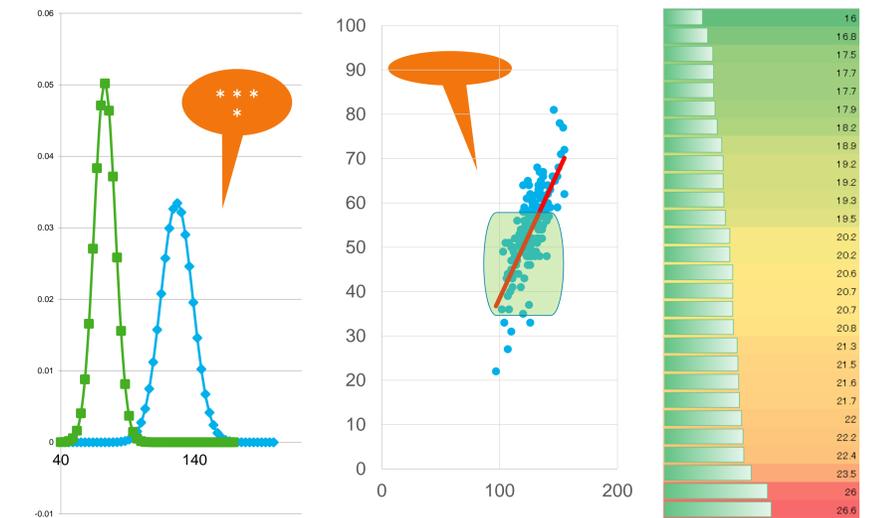


傾向分析
予測
(分析担当+担
当医+職員)

データの観察結果

- 観察結果 1：データ蓄積量、データ量の適正判断
- 観察結果 2：過去の傾向の把握、特徴の掌握
- 観察結果 3：過去の事例（傾向）との相違点、(同様か、異常か)
- 観測結果 4：特異点の協議
- 観測結果 5：一般的考察、注意点の指摘

結果の表示、指導根拠提示



- 測定結果を「見える化」して 情報の共有化（個別対応）
- 可能性（確率）を考慮した対応策を実施指導（個別対応）
- 過去のデータと比較し、良好なる介護品質を維持する情報源とする

まとめ

- 事実に基づく事柄のから、
ご利用者に対し、一番安心 且つ、自然な対応を
心掛ける事が我々の目的であり、統計処理で
「科学する介護の品質アップ」であります。

参考文献

統計学 (JQA、その他)
品質管理の基礎 (基礎、応用編)
ISO 9001 (事実データの分析で意思決定—8原則)
その他最新医学的データの抜粋を参考